

令和3年9月3日	参考資料2-2
第14回健康日本21（第二次）推進専門委員会	

令和3年9月●日

健康日本21推進全国連絡協議会 加入団体 御中

健康日本21（第二次）最終評価における健康増進施策の取組状況等について  
調査のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本21（第二次）」が令和3年度で9年目を迎え、本年6月より健康日本21（第二次）推進専門委員会において最終評価の検討を開始したところです。

つきましては、健康日本21（第二次）最終評価に向けて、健康日本21推進全国連絡協議会加入団体における取組状況について調査を行いますので、ご回答をお願い申し上げます。

本調査は、健康日本21（第二次）の最終評価の基礎情報となる、10年に一度の重要な調査です。感染症対策等業務繁忙のところ恐れ入りますが、ご理解、ご協力のほど何卒お願い申し上げます。

【調査主体】 厚生労働省健康局健康課

【委託先】 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所  
東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル9階  
担当：LVCユニット（横山、加藤）

## 団体

### 健康日本 21（第二次）最終評価における健康増進施策の取組状況等について 調査要綱

#### 1. 調査目的

「健康日本 21（第二次）」の最終評価を行うため、都道府県・市区町村、関連団体の取組状況を把握するとともに、次期健康づくり運動プラン策定に向け、健康増進に取り組む上での問題や課題を明らかにする。

#### 2. 調査対象

- (1) 都道府県 47 都道府県
- (2) 市町村 1,741 市町村
- (3) 健康日本 21 推進全国連絡協議会加入団体 142 団体（2021 年 6 月時点）

#### 3. 調査締切

令和 3 年 10 月●日（金）

#### 4. 主な調査内容

- ・ 健康増進の推進体制
- ・ 健康増進施策の取組状況
- ・ 次期計画策定に向けた課題

#### 5. 対象期間

「健康日本 21（第二次）」が開始された平成 25 年度から令和 3 年 7 月末時点まで。

## 6. 回答方法

調査票（エクセルファイル）にご回答の上、メールに添付して健康日本 21 推進全国連絡協議会のメールアドレスまでご提出ください。

健康日本 21 推進全国連絡協議会に加入されている団体について、1 団体につき 1 票をご提出ください。

メール送付先： ●●●●●@●●●●●

## 7. 個人情報の取扱いについて

調査結果は、「健康日本 21（第二次）」の最終評価に関する報告書等として厚生労働省において公表される予定です。

本調査により頂戴した一切の情報は、厚生労働省の委託先である株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所が厳重に管理を行います。回答は統計的に処理し、個人が特定される情報は本人の許諾なしには公表しません。

回答内容について、厚生労働省、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所及び調査再委託先から照会する必要があるため、担当者名と連絡先をお伺いしています。御了承のほどよろしく申し上げます。

## 8. お問合せ先

### 【調査に関するお問合せ先】

電話： 0120-753-121 （平日 9 時～17 時）

メール：[kenko21@surece.co.jp](mailto:kenko21@surece.co.jp)

（調査窓口再委託先）株式会社サーベイリサーチセンター

お問合せの内容によっては、回答まで一両日程度お時間をいただく場合がございます。御不便をおかけして申し訳ございませんが、よろしく申し上げます。

以上

健康増進計画のご担当者のお名前、所属、連絡先をご記入ください。

団体名			
所属・職名			
担当者名			
担当者の職種	1 保健師 2 栄養士 3 事務 4 その他（自由記載）から選択	回答	その他の内容
TEL			
E-mail			

※他部署に照会が必要な場合は、適宜照会の上ご回答ください。

健康日本21（第二次）計画期間である平成25年度～現在の状況について、あてはまるものをお答えください。

新型コロナウイルスの影響がある場合は、新型コロナウイルス流行以前の状況を記入してください。

1 健康日本21（第二次）の推進体制

(1) ①健康日本21（第二次）を推進する体制がありますか。

1 はい 2 いいえ

回答欄1 (1) ① 選択してください

②「いいえ」の場合は、今後健康づくり運動を体制を整備する予定がありますか。

1 はい 2 いいえ

回答欄1 (1) ② 選択してください

③「いいえ」の場合、その理由をお答えください。

回答欄1 (1) ③	
------------	--

(2) 年度ごとに計画を立てて取組を行いましたか。

1 はい 2 いいえ

回答欄1 (2) 選択してください

(3) ①取組の評価を行いましたか。

1 はい 2 いいえ

回答欄1 (3) ① 選択してください

②「いいえ」の場合、その理由をお答えください。

回答欄1 (3) ②	
------------	--

(4) ①他の機関や団体と連携を図りましたか。

1 はい 2 いいえ

回答欄1 (4) ① 選択してください

②「はい」の場合、どのような内容について連携を図ったかお答えください。

回答欄1 (4) ②	
------------	--

(5) ①団体のホームページなどで取組を公表しましたか。

1 はい 2 いいえ

回答欄1 (5) ① 選択してください

②「はい」の場合、ホームページで公開していれば、公開しているURLをお答えください。（例： <https://www...>）

回答欄2 (5) ②	
------------	--

2 健康日本21（第二次）の推進に関する取組状況

(1) 健康日本21（第二次）の次の目標項目のうち、第二次の計画期間中に取組を実施した項目はどれですか。当てはまるものをすべて選択してください。

※ 健康日本21（第二次）に示された目標項目以外については、(2)でお答えください。

		回答欄2 (1)
		計画期間中に取組を実施した項目 (当てはまる項目すべてに○)
健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現		
	① 健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の平均の延伸）	
	② 健康格差の縮小（日常生活に制限のない期間の平均の都道府県格差の縮小）	
主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底		
(1) がん	① 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10万人当たり） ② がん検診の受診率の向上	
(2) 循環器疾患	① 脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（10万人当たり） ② 高血圧の改善（収縮期血圧の平均値の低下） ③ 脂質異常症の減少 ④ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少 ⑤ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	
(3) 糖尿病	① 合併症（糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数）の減少 ② 治療継続者の割合の増加 ③ 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（HbA1cがJDS値8.0%（NGSP値8.4%）以上の者の割合の減少） ④ 糖尿病有病者の増加の抑制 ⑤ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少（再掲） ⑥ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上（再掲）	
(4) COPD	① COPDの認知度の向上	
社会生活を営むために必要な機能の維持・向上		
(1) こころの健康	① 自殺者の減少（人口10万人当たり） ② 気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少 ③ メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加 ④ 小児人口10万人当たりの小児科医・児童精神科医師の割合の増加	
(2) 次世代の健康	① 健康な生活習慣（栄養・食生活、運動）を有する子どもの割合の増加 ア 朝・昼・夕の三食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加 イ 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加 ② 適正体重の子どもの増加 ア 全出生数中の低出生体重児の割合の減少 イ 肥満傾向にある子どもの割合の減少	
(3) 高齢者の健康	① 介護保険サービス利用者の増加の抑制 ② 認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上 ③ ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している国民の割合の増加 ④ 低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合の増加の抑制 ⑤ 足腰に痛みのある高齢者の割合の減少（1,000人当たり） ⑥ 高齢者の社会参加の促進（就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加）	
健康を支え、守るための社会環境の整備		
	① 地域のつながりの強化（居住地域でお互いに助け合っていると思う国民の割合の増加） ② 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている国民の割合の増加 ③ 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加 ④ 健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加 ⑤ 健康格差対策に取り組む自治体の増加（課題となる健康格差の実態を把握し、健康づくりが不利な集団への対策を実施している都道府県の数）	
生活習慣及び社会環境の改善に関する目標		
(1) 栄養・食生活	① 適正体重を維持している者の増加（肥満（BMI25以上）、やせ（BMI18.5未満）の減少） ② 適切な量と質の食事をとる者の増加 ア 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加 イ 食塩摂取量の減少 ウ 野菜と果物の摂取量の増加 ③ 共食の増加（食事を1人で食べる子どもの割合の減少） ④ 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数の増加 ⑤ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加	
(2) 身体活動・運動	① 日常生活における歩数の増加 ② 運動習慣者の割合の増加 ③ 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加	
(3) 休養	① 睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 ② 週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少	
(4) 飲酒	① 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少 ② 未成年者の飲酒をなくす ③ 妊娠中の飲酒をなくす	
(5) 喫煙	① 成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる） ② 未成年者の喫煙をなくす ③ 妊娠中の喫煙をなくす ④ 受動喫煙（家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関）の機会を有する者の割合の減少	

(6) 歯・口腔の健康	① 口腔機能の維持・向上（60歳代における咀嚼良好者の割合の増加）	
	② 歯の喪失防止 ア 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 イ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 ウ 40歳で喪失歯のない者の割合の増加	
	③ 歯周病を有する者の割合の減少 ア 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 イ 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少 ウ 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	
	④ 乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加 ア 3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加 イ 12歳児の一人平均歯数が1.0歯未満である都道府県の増加	
	⑤ 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	

(2) 健康日本21（第二次）に示された目標項目以外に、独自に設定した目標があれば、その内容と理由をお答えください。（複数回答可）

① 独自に設定した項目の内容	
② 上記の項目を採用した理由	

(3) 健康日本21（第二次）の目標項目や独自に設定した目標に対して、特に力を入れて実施した取組があれば、どの目標項目に対して、どのように取り組んだかを具体的にお答えください。（複数回答可）

(4) ①健康日本21（第二次）の推進に関する取組を実施する上で、国からの情報提供が役に立ちましたか。

1 はい      2 いいえ

回答欄2 (4) ① 選択してください

②「はい」の場合は、どのような情報が役に立ったかお答えください。（複数回答可）

回答欄3 (4) ②	
------------	--

3 次期健康づくり運動に向けた課題等

(1) 健康日本21（第二次）の次の領域のうち、今後重点的に推進したい領域はどれですか。当てはまるものを選択してください。（最大5項目まで○をつける）

※ 健康日本21（第二次）に示された目標項目以外については、(2)でお答えください。

回答欄3（1） 今後重点的に取り組みたい領域 （最大5項目まで○）	
健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現	
主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	
(1) がん	
(2) 循環器疾患	
(3) 糖尿病	
(4) COPD	
社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	
(1) こころの健康	
(2) 次世代の健康	
(3) 高齢者の健康	
健康を支え、守るための社会環境の整備	
生活習慣及び社会環境の改善に関する目標	
(1) 栄養・食生活	
(2) 身体活動・運動	
(3) 休養	
(4) 飲酒	
(5) 喫煙	
(6) 歯・口腔の健康	

(2) 次期健康づくり運動において、特に力を入れるべきだと考えられる健康づくりの分野があれば、その内容と理由をお答えください。（複数回答可）

※ 健康日本21（第二次）で目標に設定されている領域以外の分野も含む。

① 特に力を入れるべき健康づくりの分野	
② その理由	

(3) 次期健康づくり運動に向けての改善点や課題など、健康日本21（第二次）の計画期間中に取組を行う上で気づいたことがあれば、その内容をお答えください。（複数回答可）

--

(4) 今後健康づくり運動の推進に関する取組を行う上で、だれから、どのような支援が必要ですか。（複数回答可）

--

(5) 平成12年の健康日本21（第一次）策定以降の健康づくり運動は、全体としてどのように役立ちましたか。※

また今後の健康づくり運動はどうあるべきでしょうか。その他、ご自由にご意見をご記載ください。

※ 国民の意識改革に役に立った、健康観の変化に繋がった、社会環境整備が進んだ、健康格差対策を意識するようになった、指標をモニタリングし評価するようになった等

※ 健康日本21（第二次）の推進に参画して、団体として活性化につながった、団体としてメリットがあった等ございましたら、そうした事例についてもご記載ください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。